(C)河北新報社

東北大と仙台大 先勝

仙台六大学野球

春季リーグ第2節第1日は18日、仙台市の東北福祉大球場で仙台大―宮城教育大、東北大―東北工大の各1回戦があり、仙台大と東北大が先勝した。

仙台大は二回に敵失や吉沢の左前適時打で2点を先取。四回以降は毎回得点し、七回コールド勝ちした。東北大は一回に田村と長崎の適時打で2点を先取し、三回は浜岡の2点本塁打で点差を広げた。

第2節第2日の19日は同球場で工大―東北大、宮教大―仙台大の各2回戦が行われる。

東北大 7得点快勝

東北大―工大1回戦(東北大1勝)

東北大	2	0	2	0	2	1	0	0	0	7
工大	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2

勝 越智1(試合1勝)
敗 今井2(試合2敗)
本 浜岡1号②(今井)

【評】東北大が序盤から主導権を握り、快勝した。一回に田村、長崎の連続適時打で2点を先取。三回は浜岡の右越え2点本塁打、五回は浜岡の右翼への2点打で突き放した。先発越智は要所を締め、8回2失点。工大は三回に暴投、六回に敵失でそれぞれ1点を返すにとどまった。

○…浜岡2ラン、4打点の大暴れ 東北大の4番浜岡が、2点本塁打を含む4打点と大暴れした。4年生とって本塁打は通算4本目。「とにかくつなごうと自分のスイングをした」と納得顔だった。

好球必打でチームを勢いづけた。2―0の三回2死一塁。高めに浮いた球を逃さず振り抜いた。一塁を回り、右越え本塁打になったのを確認すると、右腕を高く掲げて大喜び。「うれしさのあまりガッツポーズが出た」と満足げだ。

島根・出雲高時代は本塁打はゼロだった。大学で上半身の使い方を工夫し、飛距離が伸びた。3年の春に1本、秋に2本の本塁打をマーク。「しっかり走者をかえす打撃をしていく」と、さらなる活躍を誓った。

東北大―工大 3回表東北大2死一塁、浜岡が右越えに2点本塁打を放つ

仙台大がコールド

仙台大―宮教大1回戦(仙台大1勝)

仙台大	0	2	0	1	2	2	4			11
宮教大	0	0	0	0	0	0	0			0

(七回コールドゲーム)
勝 大城1(試合1勝)

東北大

打		安	点
4	郷	3	0
3	村	1	1
2	崎	2	2
5	岡	5	4
3	下	1	0
1	村	1	0
2	原	0	0
2	林	0	0
1	葉	0	0
1	藤	0	0
3	下	0	0
1	山	0	0
0	谷	0	0
5	槻	2	0
4		2	0
36		12	7

(中)本田 (遊)長田 (右)浜崎 (捕)山岡 (指)下 (打)木村 (一)笠原 (打)小林 (一)稲葉 (三)斎藤 (三)竹下 (捕)真山 (左)真谷 (左)岩槻
振球犠併残
6 6 2 1 1

工大

打		安	点
5	菅	1	0
5	山	1	0
5	田	0	0
5	千葉	1	0
3	斎藤	0	0
0	只野	1	0
4	照井	0	0
3	中寺	2	0
1	善藤	1	0
0	佐嶋	1	0
3	登寺	0	0
1	梅川	1	0
2	利辺	0	0
1	根本	1	0
0	渡岡	0	0
0	藤船	0	0
0	加藤	0	0
0	熊谷	0	0
1	郷家	1	0
36		10	0

(捕)渡辺 (捕)藤本 (打)船岡 (走)加藤 (捕)熊谷 (打)郷家
振球犠併残
6 2 1 1

三田村、中善寺、二郷
登嶋、郷井、盗本、失郷
今井、田村、長崎
暴越智2
時2時間36分

投	手	回	打	安	責
越智		8	35	9	1
豊田		1	4	1	0
今井		5⅔	30	10	7
内田		3⅓	14	2	0

仙台大

打		安	点
4	沢	3	2
5	藤	3	2
3	悠	1	2
3	下	0	0
1	北	0	1
3	川	0	0
1	口	0	0
2	上	0	0
1	部	0	0
0	川	0	0
3	川	1	0
1	尻	0	0
2	田	0	0
1	村	1	0
0	寺	0	0
0	保	0	0
3	岡	2	0
1	藤	0	0
2	原	0	0
33		13	9

(指)吉 (右)斎 (中)今野 (中)山 (一)今 (二)瀬 (打)谷 (二)井 (三)服 (三)石 (遊)広 (捕)井 (打)前 (走)木 (捕)小 (遊)野 (遊)新 (打)岡 (左)内 (左)藤 (打)原
振球犠併残
1 5 2 0 8

宮教大

打		安	点
3	古	3	0
3	磯	1	0
3	千葉	3	0
3	金	3	0
3	宮	1	0
3	千葉	0	0
2	柊	1	0
2	鈴木	0	0
2	吉田	1	0
2	芳賀	2	0
2	寺崎	2	0
24		3	0

(二)川 (左)吉 (捕)沢 (中)今 (指)新 (三)柊 (二)千 (遊)鈴 (右)吉 (左)芳 (捕)寺
振球犠併残
14 0 0 0

三斎藤 二新保、広盗
川、前田、斎藤川、
吉沢、新保、石川、失千葉
今野悠、原暴泉、
柊2、石川
山田
時2時間10分

投	手	回	打	安	責
大城		5	17	2	0
石井		1	4	1	0
菊地		1	3	0	0
泉		5⅓	28	9	4
山田		1⅔	12	4	4

【評】仙台大がコールド勝ち。二回に敵失や吉沢の左前適時打で2点を先取。四回は内藤の左前適時打で加点し、五回以降も毎回の複数得点で差を広げた。先発大城は緩急がさえて12三振を奪い、5回2安打無失点。宮教大は投手陣が踏ん張れなかった。

○…1年生吉沢、3安打2打点デビュー 仙台大の1年生吉沢が「1番・指名打者」で先発出場し、3安打2打点1盗塁でリーグ戦デビューを飾った。好成績に「自分でもびっくりした」と笑顔で話した。

右横手投げの相手先発に対応した。体が開かないよう注意し、初打席で中前打。すかさず二盗を決め、「緊張が解けた。持ち味の走塁でも結果を出せた」。勢いに乗り、二回は左前適時打、六回は中前適時打を放った。

森本監督から「足もあり小技もできる。1番としてすごくいい打者」と評価される新人。吉沢は「これで終わりではない。次の試合も自分の持ち味を発揮したい」と気持ちを切り替えた。